飛騨市立神岡小学校　学校だより

かみっこ

合い言葉は
「自ら考える」

令和５年7月１３日

みんなが仲良くなるように

校長　平澤啓介

神岡小学校児童会では「どの学年とも仲良く、安心してすごせる神小」を目指して活動を進めています。このスローガンには「全校のみんなが仲良くなってほしい。」という願いが込められていて、児童会長の中谷咲斗さんを中心に、執行部が話し合って決めたものです。

先日、この願いを実現するための活動として、児童会主催の全校遊びがありました。全校遊びの計画は、まず「遊び」を決めることから始まります。１年生から６年生までが一緒に遊ぶので、「どの学年の子も楽しめるように。」「いろんな学年の子と触れ合うことができるように。」と話し合い、今回は「じゃんけん列車」を行うことに決めました。この遊びは、音楽に合わせて体育館を歩き回り、音楽が鳴り止んだ時に近くにいた子同士がじゃんけんをします。負けた子は勝った子の後ろにつながり、どんどん列車を長くしていきます。

全校遊びが始まると、体育館じゅうに子どもたちの歓声が広がり、いろいろな学年とつながって列車をつくる様子がたくさん見られました。先頭の１年生がじゃんけんに勝つと、後ろにつながっている上級生も一緒になって大喜びし、学年を越えて思い切り楽しむことができました。

神岡小学校では、１月の「こころの日」に、大切な仲間のことを心に想い、「みんなが仲良くなるように」という願いについて考えています。児童会の活動の様子を見ていると、この願いが児童のなかで大切にされていることを実感し、とても嬉しい気持ちになります。

みんなが仲良くなることは、そんなに簡単なことではありませんが、児童一人一人が自分にできることを考え、今を精一杯に歩んでほしいと願っています。

あと少しで夏休みです。児童が健康で安全な毎日を過ごせること、そして、長期の休みならではの学びや体験ができることを願っています。８月２８日、元気な子どもたちに会えることを楽しみにしています。